

# 補助金等適正化チェックシート

※継続的に補助金等を交付している団体が複数ある場合は、団体ごとにシートを記入してください。

補助金等の名称	長久手市生垣設置補助金	担当部課	建設部みどりの推進課
---------	-------------	------	------------

基本情報	支出根拠	補助要綱	有	長久手市生垣設置補助金交付要綱			
		根拠法令等	無				
	総合計画	基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物-自然環境			会計区分	一般会計
		政策	3-3 地球にやさしい持続可能な社会の構築			予算区分	7-4-5緑化推進費
		施策	3-1-3 まちの緑の創出			中事業名	生垣設置補助事業
	補助制度開始年度	平成8年度	制度終了(予定)年度	(未定)年度	細節名称	負担金	
	交付先(団体名)又は対象者	市民			交付年数【※】	通算 21年以上	
	会員数【※】		年 月 日現在		会費【※】		
	他団体への交付【※】				制度の周知方法【※】	HP、チラシ、広報	
	ガイドラインの適用	適用(予定)	令和6年度以降				
		例外規定	無し				
	最新年度の補助内容	補助対象経費	消耗品・材料費・工事費				
		補助対象事業費の総額	246,000円	補助金額	246,000円	事業全体の補助率	100%
		特記事項	上限15万円(分譲住宅は1宅地につき6万円)。生垣の延長1メートル当たり4,000円(集合住宅は3,000円、分譲住宅は2,000円)を乗じて得た金額(当該額が補助対象経費を超える場合は、補助対象経費の額とする)				

補助金等の目的・内容・効果	目的	(市民生活の維持・向上に資するものか) みどりの育成を推進し、安全で快適な市民生活の確保に寄与するため。							
	内容	(団体向け補助の場合は補助対象となる活動内容について、個人向け補助の場合は制度概要について記入) 過去10年間に同一の補助を受けていない土地で、高さ0.9メートル以上である生垣を、1mあたり2本ずつ、道路沿いに3メートル以上連続して設置した場合に、生垣を設置した者に対して補助金の交付を行う。							
	事業費補助の実績 (団体の主な活動の実績) ※今年度は予定	R2年度実績(2020)	0件	R3年度実績(2021)	2件	R4年度実績(2022)	2件	R5年度予定(2023)	2件
		補助対象事業費		104,000円	41,000円	246,000円			
	補助金額		104,000円	41,000円	予算額	246,000円			
	財源	国及び県							
		市(一般財源)		104,000円	41,000円	246,000円			
		その他							
	補助金等の効果 ※今年度は予定		緑化の推進が図れた。	緑化の推進が図れた。	緑化の推進を図る。				
	今後の方向性・担当部署の自由意見	当補助金は住宅街における緑の推進を目的としている。市内での宅地開発は現在も進行しており、街並みの緑は減少傾向にあるため、宅地での緑化推進を図るこの事業は継続すべきと考えるが、現状では市の補助金ガイドラインに適合していないため、交付率の上限を事業費の1/2とする改訂、また、利用を促進するよう内容の見直しを検討している。							

【※】欄は、団体補助のみ記入してください。

	確認の視点	チェック	左記のチェック内容とした理由	
公益性	補助事業（事業の内容）が、市の施策（総合計画）と整合性が図られているか	○		
	効果が幅広く市民生活の維持・向上に不可欠なものか	○	みどりの育成を推進し、安全で快適な市民生活の確保に寄与するため。	
	市民ニーズは認められるか	○	市民のニーズはあるが、改善の余地あり。	
有効性・妥当性	補助金額に見合った効果があがっているか	×	利用が少ないため、効果が充分とはいえない。	
	社会情勢の変化により補助効果が薄れていないか	×	利用が少ないため、効果が充分とはいえない。	
	少額または申請件数の少ない補助金について継続していく必要があるか	○	あいち森と緑づくり事業においても生垣設置の補助メニューはあるが、規模が大きいため、小規模な生垣設置に対する本補助金は、継続させる必要がある。	
	直近3年間の成果（効果）状況が維持又は向上しているか	○	継続的に成果を維持できている。	
	会計処理・実績報告が正確に行われているか【※】			
	補助対象経費	公金で補助することが妥当か	○	
		補助率や補助金額（補助対象経費や補助額の設定）は妥当か	×	現状では、補助率が市の補助金ガイドラインに適合していない。
		経費の使途は明確か	○	
		基準を逸脱して補助していないか	○	
		運営費的な内容の補助により、補助対象が曖昧になっていないか【※】		
補助金額を超える繰越金の発生はないか【※】				
市の施策的課題の解決につながるものか	○			
社会情勢、他の自治体の取組状況を踏まえて実施が適切か	○			
補完性・公平性・透明性・他	市民や団体の自主的な行動支援に寄与するものか	○		
	委託や直接執行よりも補助金等による事業執行が適切か【※】			
	補助金を交付する目的が達成されたにもかかわらず、同一対象者に長期間にわたり補助金を支出していないか	○		
	補助対象者を限定するなど、交付先に偏りがないか（特権的な恩恵を与えていないか）	○		
	同様の活動を行っていれば、誰でも補助を受ける機会が確保されているか【※】			
	補助金の概要、要綱等がホームページなどに掲載されているか	○		
	事業の実施状況（実情）の確認、監査等が適切に実施されているか【※】			
補助事業に類似する事業がある場合に、統合の可能性を検討しているか	○			
総合評価	担当課の評価	評価理由、見直す場合はその内容		
	B	生垣設置を推奨することにより、みどりの育成を推進し、安全で快適な市民生活の確保に寄与する。街並みの緑の増加を図るため、継続をしていく。		

【※】欄は、団体補助のみ記入してください。